

とやま型学校評価システム推進事業中間評価(2学期末)

平成29年度 さみさと小学校アクションプラン - 2 -

重点項目	生徒指導
重点課題	進んで挨拶、温かい言葉遣いや行動をする。
現 状	挨拶ができる子供を育てるため、児童会(運営委員会)を中心に挨拶運動やふわふわ言葉の啓発活動(毎月22日を「ふわふわの日」とする)を行ってきた。子供たちは挨拶や温かい言葉遣い、行動の大切さは意識している。しかし、自分から進んで地域の人や来校する人等にも挨拶することや誰にでも自然に温かい言動をすることについては、今後も指導が必要である。そこで、時と場に応じた言動の充実とよりよい人間関係の構築を意図し、子供たちがさわやかな挨拶と温かい言動を身に付けることを目標に取り組むこととした。
達成目標	児童及び保護者の評価…A、B評価の合計を80%以上とする。 児童の毎月の自己評価…A、B評価の合計を80%以上とする。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校内における「あいさつ運動」を継続し、声掛けを積極的に行う。 ○ 4月に、学級ごとで「ふわふわあったか宣言」を考える。そして、毎月22日を「ふわふわあったか行動の日」として、「ふりかえりカード」で自己評価し、達成度を確認する。また、「進んで学ぶさみっ子家庭学習カード」実施時に家庭や地域でもできているかを振り返るようにする。さらに、学期に一回は、クラスでの話合いの時間を設け、よりよい運動になるように改善を行う。年間を通して継続することで意識の高揚を図る。 ○ 帰りの会や学級活動等で一日の振り返りの場を設け、子供一人一人の温かい言葉遣いや行動への意識を高め、一層の定着を図る。 ○ ロールプレイやソーシャルスキルトレーニング等を取り入れ、温かい言葉遣いのよさを感じることができるようにする。 ○ 小・中・高校の連携による「さわやか運動」(年5回)をPTAや地域の方々の協力と参加を得ながら家庭・地域と連携して取り組む。
2学期の取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふわふわの日」の取組では、「ふわふわあったか宣言」の達成率が、全校平均で9月79%、10月89%、11月91%であった。少しずつ向上してきており、ふわふわ言葉、あったか行動を意識して生活することができるようになってきている。 ○ 人権週間に各学級で「ふわふわあったか宣言」の振り返りを行った。 ○ 縦割り班挨拶運動を継続している。意欲的に取り組んでおり、元気な挨拶が響いている。各教室の入り口に「おはようポスター」を掲示して意識化を図った。 ○ 廊下ですれ違うときの挨拶を呼びかけた。 ○ 友達を～さん、～くんで呼ぶことを呼びかけた。
2学期の評価	
B	
3学期へ向けて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達は、～さん～くんと名前を呼ぶことを徹底する。 ○ 「ふわふわあったか行動」の学級目標は、100%達成を目指せる具体的な目標にし、目標を見直しながらステップアップしていく。 ○ 温かい人間関係作りに努める。温かい雰囲気の中で安心して生活し、自己肯定感を高めることで挨拶や温かい言葉遣いができるようになる。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪化)